



## ふるさと 鬼北の風景 No. 3

### 稲刈り

8月末、興野々地区の稲の刈取りの様子です。コンバインでの稲刈りが主流となり、機械の入らないごく一部でしか手刈りは見られなくなりました。



### いなぎ 稲架の風景

鬼北地方に昔から伝わる稲の乾燥方法である「稲架」。写真の上鍵山地区以外でも見ることができますが、乾燥機など農業機械の導入により、こうした風景は徐々に失われつつあります。



### わらぐろのある風景

吉波地区の「わらぐろ」。脱穀した後の稲わらを乾燥貯蔵させるため、わらを束にまとめ、積み上げたものです。牛などの飼料として利用することが少なくなったことで、近年はほとんど見られなくなりました。

(写真/柳野治示氏)

### 編集後記

▼今年の夏の印象は「とにかく暑かった」その一言に尽きます。近永では8月のうち28日が真夏日(最高気温30度以上)を記録しました。最近になってようやく朝晩涼しくなってきましたが、季節の変わり目は体調を崩しやすいので、皆さんもお体に十分ご注意ください。

▼9月17日の敬老の日を前に各地区で敬老行事が行われました。今年の招待者は昨年より14人多い3,779人で鬼北町の人口の3割に当たります。私たちの豊かな生活があるのは敬老の日を迎えられた皆さんの頑張りがあったこそ。感謝をするとともに、これからは私たちが先人の築きあげてきたものを引き継いでいかなければなりません。私も微力ではありますが、青年団活動などを通じて地域に貢献していきたいと思えます。

⑧